平成29年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人柔道大会
要 項

1　主　　催　　伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会　　伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2　主　　管　　伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟　柔道部

3　大会期日　　平成２９年９月３０日（土）７時００分　開場
　　７時５０分　集合・計量
　　８時３０分　審判会議
　　８時４５分　開会式
　　９時００分　試合開始

4　会　　場　　伊勢崎市境武道館　　０２７０－７４－３９０５
　　スポーツ振興課　　０２７０－７４－１１１３

5　大 会 役 員

専 門 部 長	松本　明良(宮郷中)		
専門副部長	菅沼　明広(境南中)		
専門委員長	三輪　洋介(宮郷中)		
委　　員	星野　治道(第一中)	竹林　千晴(第一中)	新井　聡明(第二中)
	草場健一郎(第二中)	橋本　和也(第三中)	木村　弘枝(第三中)
	高橋　　哲(第四中)	芳賀　武史(殖蓮中)	豊島　俊春(殖蓮中)
	今泉　敦子(宮郷中)	坂部　洋平(赤堀中)	諸岡　知晃(赤堀中)
	木暮　寛幸(あずま中)	工藤　千晶(あずま中)	佐藤　　康(境南中)
	中嶌祐一郎(玉村中)	萩原　夏海(玉村中)	柿沼　翔太(玉南中)
	野口　高弘(玉南中)		

6　審判規定
国際柔道連盟試合審判規定(2017～2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。

7　選　　手
（１）男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督１名、選手５名、補員２名とする。
（２）女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督１名、選手３名、補員１名とする。
（３）選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
　　なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
（４）男子団体戦で、選手が５名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が３名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
（５）補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。
（６）個人戦は中体連柔道部事前調査により、１または２階級で行うものとする。
　　ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。

８　試合時間

《団体戦》男子：予選リーグ２分　決勝トーナメント３分

女子：リーグ３分

《個人戦》３分

９　試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が２あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

（１）男子は1組を４校と５校の２リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位３校、６校によるトーナメント戦を行う。女子は４校のリーグ戦による総当たり戦を行う。

（２）リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

（ア）　勝ち数による。

（イ）　（ア）において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

（ウ）　（イ）において同等の合は、「技ありによる勝ち」の数による。

（エ）　（ウ）において同等の場合は、引き分けとする。

（３）リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

（ア）　チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

（イ）　(ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

（ウ）　(イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

（エ）　(ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

（オ）　(エ)において同等の場合は、負けの内容による。

（カ）　(オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、３校同等の場合は、代表選手３名によるリーグ方式を行う。

（４）トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

（ア）　勝ち数による。

（イ）　（ア）において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

（ウ）　（イ）において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

（エ）　（ウ）において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

（１）男子は２階級、女子は１階級でトーナメント戦を行う。

（２）個人戦における判定基準は、「技有」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が２あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

10　表　　彰　団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校・３位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級の上位４名に賞状を授与する。

11　代表資格

《男女団体戦》

男子、女子ともに優勝校、第２位校、第３位校の計３校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

《男女個人戦》

県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

12　佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

（１）男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は２分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｽｺｱ)により勝敗を決する。

（２）決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は３分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｽｺｱ)により勝敗を決する。

《個人戦》

（１）得点差がないときはGSを行い、必ず勝敗を決する。

13　そ の 他

（１）選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から５～１０ｃｍ下に下記のように付ける。

（２）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿）を着用する。
女子の黒帯については、白線入りの帯も可とする。

（３）相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

（４）脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医［脳神経外科］の精査を受けること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

（５）試合時の帯の色は、若番（対戦表の上または左）を赤とし，古番（下または右）を白とする。

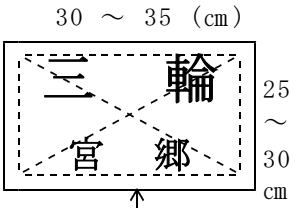
（６）試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表（模造紙1/4）を男子は２部、女子は１部を受付へ提出する。

（メンバー表）

先	次	中	副	大	学校名
					補員 補員

（白模造紙1/4　または　Ｂ４を２枚）

（ゼッケン）



・男子は黒、女子は赤文字
・対角線にも強い白い糸で縫いつける。
・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。